

平成28年度 第4回大山崎町社会教育委員会議録

- ◇ 日 時 : 平成29年3月16日(木) 午後2時～午後4時
- ◇ 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室
- ◇ 出席者 : 19名
 - 出席委員(7名)
上田委員長・森(一眞)副委員長・森(かおる)委員
山崎委員・綾木委員・井幡委員・島委員
 - 事務局(12名)
教育長、教育次長、学校教育課長、生涯学習課長
生涯学習・スポーツ振興係リーダー、文化芸術係リーダー
歴史資料館長、中央公民館長、体育館長、事務局員
社会教育指導員(2名)
- ◇ 公開の可否 公開
- ◇ 傍聴人 なし
- ◇ 会議の成立
半数以上の委員の出席により本日の会議は成立(欠席2名)
- ◇ 会議次第
開会
あいさつ
議事
 - (1) 平成28年度社会教育委員関係事業報告について
 - (2) 平成28年度生涯学習課関係事業報告について報告
 - (1) 招致外国青年任用規則(素案)について
 - (2) 平成29年度生涯学習課関係主要事業(素案)についてその他

【概要】

- ◇ 開会
- ◇ 教育長あいさつ
 - 今年は、例年に無く寒波襲来が多く、春の訪れを待ちわびている間にもう3月も終わろうとしている。

「春は名のみ 風の寒さや 谷の鶯 歌は思えど 時にあらずと 声も立てず」
 - 昨日、大山崎中学校の卒業式があり、本町での義務教育9年間を終え、125名の卒業生が立派に旅立ちをした。子ども達の旅立ちを祝福していただいた委員の方々にお礼を申し上げる。

また、地域の子どもとして、地域の宝として、社会教育事業などを通して9年間かかわりを持ち温かくご指導いただいたことに重ねてお礼と感謝を申し上げます。

- 本会議は、今年度最後の会議であり生涯学習課が所管する事業もあとわずかである。

この後、1月末段階ではあるが各担当が報告申し上げます。

- 今開催されている町議会 第1回定例会に上程した主な新年度予算について経過等の報告を申し上げます。22日の最終日に議決いただいて新年度予算が決定するのであくまで現時点では（案）の段階である。

<中央公民館について>

- 熊本地震を受け、本町の中央公民館の耐震強度が不足するホールの使用について臨時社会教育委員会で協議いただき、閉鎖した方が良いという意見を取りまとめて、教育委員会でホールの閉鎖及びゆめほっぺを移設することを決定いただいた。

現時点では、いつ改修するのかという具体的な説明をする段階に至っていない。

- ① 公共施設総合管理計画に基づき、公民館を含むその周辺施設（長寿苑、保健センター等シビックゾーン）の長寿命化や複合化などを含めた整備計画を進めている。
- ② 整備計画案については、「(仮称)公共施設総合管理計画検討委員会」を立ち上げ、検討する予算を計上している。

※ ホールが使用できないことについての対応策は意見を聞き、対応していきたいと考えている。

<体育館の改修について>

- 体育館改修については、本来のスポーツ振興の拠点としての機能向上と同時に災害時の避難所施設としての環境整備を行おうとするものである。

そのため、これまでも改修工事的必要性とその財源確保のために活用できる補助金等の制度に適用されるための手段として「ホストタウン事業」や緊急防災・減災事業債の活用、広域的スポーツ施設充実支援事業補助金、スポーツ振興くじ(toto)の地域スポーツ整備助成の獲得などに努めてきたところである。

- ① 「町体育館改修工事設計業務委託契約」を平成28年8月に締結し、この3月末に成果品として上がって来る実施設計に基づき進めていく。
- ② 平成29年度当初予算案では、この改修工事にかかる予算として、施設整備工事費として5億4千744万円を計上している。
- ③ 工事着工に伴い、閉鎖期間は、8月当初から3月末と考えて利用団体にはお知らせしてある。

＜第二大山崎小学校のプール及び放課後児童クラブの移転について＞

- 11月の定例会においてご協議いただいた、放課後児童クラブの移転については、12月の町議会第4回定例会においてプール及び放課後児童クラブの移転計画にかかる設計業務委託料の補正予算が認められたことにより、第二大山崎小学校保護者、放課後児童クラブ「でっかいクラブ」保護者会、大山崎学童保育連絡協議会、学校開放に伴う利用の各種地域スポーツ団体等への説明会を進めている。

まだ、残念ながらご理解いただけない保護者もあり、署名活動やビラの配布等の行動をとられている。その意見は真摯に受け止めながら、ここでご協議いただいた「児童の安全を最優先して欲しい」という意見は、教育委員会の思いと一致するものであり、それぞれの移転費用は、当初予算に計上しており、可決すれば、更にご理解いただけるよう努力していきたい。

- 今年度最後の社会教育委員会議であり、かつ、この3月で2年前に委嘱させていただいた各委員の任期が満了となる。

特に社会教育は分野も広く、子どもから大人までを対象とした広範囲に渡る活動である。お世話になったことに対し感謝とお礼を申し上げる。

引き続き次年度からもお願いを申し上げているところであるが、諸般の事情のある方や団体等からの選出の方は、任期満了を迎えられる。

退任される委員は、平成14年4月に就任され、15年間の長きに亘り本町の社会教育の推進に貢献いただいた。特に委員の活動だけでなく陶芸教室の指導者としても公民館事業や青少年の活動に寄与された功績は計り知れないものがある。本当に長い間お世話になった。また、一部団体選出の委員も交代されると聞いている。感謝申し上げます。

委員引退後も健康に留意されるとともに、益々のご活躍とご健勝をお祈りいたし、今後も社会教育の推進にご支援いただきますようお願い申し上げ、謝辞と開会のあいさつに代えさせていただきます。

◇ 委員長挨拶

- 一年間は早く今年度最後の会議となった。暑さ寒さも彼岸までというが、私たち京都の者には「比良の八荒」という言葉があり、それまでは寒さがしみるが、それを過ぎると暖かくなるのでもう少しで春かなと思う。
- 本日の古文書講習会、3月4日、5日の瓦窯跡現地説明会は分かりやすい説明でよく理解できた。土日にも関わらず関係された職員の方々にお礼申し上げたい。また、15日は中学校の卒業式に行ってきたが生徒の名前の半分も読めなかった。時代を反映しているのか、男女がわからない名前もあった。教育長の祝辞の中で人とのつながりやコミュニケーションの話をされたが、これは社会教育委員にもそのまま通じることだと思った。

◇ 議事

- (1) 平成28年度社会教育委員会議関係事業報告について
事務局― 資料に沿って説明

【質疑応答】

- 委員長― 乙訓社会教育委員等連絡協議会研修会に参加された方からの感想をお願いしたい。
- 委員― ラウンドテーブルでいろんな方の話を聞かせてもらえてよかった。
- 委員― 講師は、家族新聞を発行して家庭教育から社会教育を始められた。そこを出発にしていろんな講座を地元の人を講師にしたりして地域の中で展開し広げていかれた。
- 滝ノ町という地域は古くから住んでいる方が少なく、外から新しく入ってきた方が多いという地域の特性も活かして活動を展開されてきた。とてもエネルギーで圧倒された。餅つき大会などは、子ども用の杵を用意して子どもたちも一緒にやれるように考えたところなどは参考になった。
- 委員長― 本当に活躍されていて、放課後子ども教室の方も役員をされていて次々と計画し月に2～4回くらい開催されるなど地域ぐるみで取り組まれている。
- 他になれば、次に京都府社会教育研究大会に参加された方から感想をお願いしたい。
- 委員― 社会教育委員に求められるものというテーマで、分かっているようで分からないなと思った。自分のできる範囲内でやればいいのかという意見も聞き、納得したところもあった。新しいことに取り組むにはエネルギーがいるし、現時点の自分には難しいと思った。
- 委員― 「今時の子ども事情」という講演だったが、現場を離れて10年も経つので、何と読むのだろうという名前がずらっと並んでいて本当に読めない。そういう名前の付け方が流行っているのかなと思う。男女間でどんな愛称で呼び合っているのかと興味を持った。

⇒議題(1)については承認された。

- (2) 平成28年度生涯学習課関係事業報告について
事務局― 資料に沿って説明

【質疑応答】

- 委員長― 今の説明について質問、意見のある方は挙手をお願いしたい。
- 委員― 来年度体育館の改修が予定されているが利用状況がすごく多いという

のを聞いて、工事中の代替えをどう考えているのか。

→事務局 小学校の施設を考えているが、実際のところ小学校も利用がいっぱい
の状況である。そこへ体育館の利用団体も回ってもらうことになるので各団
体の利用回数が減るのではないかと思う。

⇒議題（２）については承認された。

◇ 報告事項

（１）招致外国青年任用規則（素案）について

事務局― 資料に沿って説明

【質疑応答】

○委員長― 今の報告について質問、意見のある方は挙手をお願いしたい。

○委員― 第２条第１項第２号に高等学校等となっているが高校は入らないので
はないか。

→事務局 自治体国際化協会（以下「CLAIR」という。）の任用規則に沿って
町の方でも規則を定めようとしている。この外国語指導助手というのはALT
Tに関する事でCLAIRの規則にも入ってはいるが、今回は国際交流員
（以下「CIR」という。）として新たに雇用しようとしているものである。
語学指導に関する事については今後整理させていただくかもしれない。

○委員― 第４条に任用期間は３年を超えないとなっているが、今回はホストタ
ウンの関係での任用となると思うが３年を超えた後はどうする予定か。

→事務局 ２０２０年の東京オリンピック・パラリンピックの関係事業ではある
のでこの期間ということになるが、事業後についての国際交流員の必要性は
財政的な面もあるので今後の検討課題と考える。

○委員― 本町にALTが配置されていると思うが、第３条の国際交流員の職務
がいくつか書いてあるが、この中のどれが中心になってくるのか。

→事務局 今回の任用はホストタウンの事業を中心的に担ってもらうことになる。
相手国との交流における企画、交渉などに期待している。

どれが中心という限定ではないが第３条に書かれているようなことも含め
めて事業の効果がでるような活用を図っていきたい。

自治体国際化協会に大変お世話になっているので、同協会とのつながりや
イベントを行っていく上での中継ぎ等の役割も果たしてもらいたいと思っ
ている。

CLAIRから選定された人材なので信頼は置けると思うが、実際に来て
みてからでないと分からないこともあるので効果が上がるようにうまく活用
していきたい。

○委員― 何でもそうだが人次第だと思う。いい方向に進むか全然進まないかは
人によって決まってくる。全国にALTが配置されているが、大いに効果を

発揮しているところもあれば、反対に高額をもらいながらあまり効果が出ていないところもたくさんある。しっかりと見極め決めていただきたい。

○委員一 人を雇用するとなると、給与だけでなくほかにも必要なものもあり実際にはもっと費用が必要になると思うが予算的に大丈夫なのか。

→事務局 自治体国際化協会の方でも旅費などの規程を設けているので、そういったことに沿いながら住居費、社会保険料といったことも含めた予算案を審議してもらっている。

○委員一 とにかく人を雇うとなると700万、1000万はかかると思うので高額にならないか心配している。

→事務局 CLAIRの規定に沿って雇用し、また町の非常勤職員としての規定を超えた雇用ということはありません。

○委員一 CLAIRからと大山崎町からの両方から給与が支払われるのか。

→事務局 本町から支給される給与のみである。自治体国際化協会の規定の条件で応募しているのでそれ以上のことを期待しているということはない。

○委員一 ホストタウンを受けている自治体はどこもこのような交流員を受け入れているのか。

→事務局 すべてのところがこのCLAIRを希望しているというわけではない。ホストタウンを受けていない自治体でもCIRを受け入れて国際交流に活用しているところもある。

○委員一 大山崎町ではそういうことに決まっているということか。

→事務局 その方向で今議会に諮っているところである。国の交付税措置が2分の1あり、町としての負担は2分の1になる。

○委員長一 これでこの件の報告を終えて、次の報告をお願いしたい。

(2) 平成29年度生涯学習課関係主要事業（素案）について

事務局一 資料に沿って説明

【質疑応答】

○委員長一 先日瓦窯遺跡を見せてもらったが整備後にも少しは見えるようになるのか。

→事務局 見えない。木津川市に本町より50年ほど古い窯跡が二基見つかっている。シリコンで型を取り置いてあるが、それでも劣化してきている。そこで覆屋をかけたがそれ自体が大きくなり憩える空間がほとんどないという状態になっている。そこで本町の場合も見せる遺跡と保存の施設を作るとなるとそれだけになるので厳しいと思う。むしろ遺構として陶板などを設置していくなどの表現方法で公園として整備していくのが良いと考えている。

行政が遺跡の整備を始めて50年ほどになる。一番初めに始めた枚方市の百済寺というのがあるが、50年もたつと再整備が必要になってくる。今回一番調査しにくかった西南部分の瓦窯跡は非常に状態がよくて、長い視野で

見ていずれはそういうものが何段階か経て見られるような形にしていければと思う。北側にも今回の遺跡と同規模のものがあることが分かっているのでいずれはそこも含めた整備事業になるので5年10年ではなくもっと長いスパンで考えていく必要もあることをご理解願いたい。

○委員一 この遺跡は学術的な面から見てどうなのか。

事務局一 2610㎡の中に10基の瓦窯が存在している。平安京を造るための瓦の生産工場といわれるものである。特徴として、整然と瓦窯が並んでおり、大規模で厳密な施工で造られている。平安京を造ることが計画的に行われたといえる。平安京を評価する上で長岡京との関係が重要で、長岡京は怨霊で廃都になり、平安京は長岡京を逃れるように遷都したのではないかという説もあるが、そういう生産基盤を見ると逃げるといよりは非常に厳密な計画性と施工の実態に基づいて都作りがなされているということが調査から分かってくる。この瓦窯を見なければ平安京が語れないというぐらいのものである。大山崎町の歴史だけでなく日本の都の終着点である京都の原型になっている平安京を考える上で、非常に大事な遺跡だということで国の遺跡に指定されている。

整備の内容としては見切板でホームベースのような窯の形を明示して、そこを植栽したり窯の陶板表示をしたりということで整備を進めていきたい。

○委員一 これだけ大量の瓦を焼こうと思えば粘土も多量に要るがどこから採っていたのか。

→事務局 あまりいい粘土ではないようだがこの辺りから採っていると思われる。平安京の瓦はここだけでなく京都市の西賀茂にも瓦窯があるが、ここの粘土とは質が違う。

平城京の大極殿だけで瓦が10万枚使われている。平安京はいろんな建物があることを考えると相当な瓦が使われていると思う。

◇ その他

【報告内容】

- (1) 平成29年度指導の重点について
- (2) 第二大山崎小学校の一部施設の移転について
- (3) 放課後児童クラブにおける火傷事故のその後について

【質疑応答】

○委員長一 近畿地区社会教育研究大会京都大会実行委員会の報告を忘れていたのでこの場でしたい。

- ・期日：平成29年9月7日（木）
- ・場所：京都テルサ
- ・参加規模：1000余名で京都府は260名の目標（社会教育委員は府内で283名なのでほぼ全員の参加が必要）

- ・その他：参加対象に社会教育委員、社会教育関係者の他、社会教育に関心のある方を追加した。

○委員一 二山小学校の施設移転に関わっての説明会を通して理解は進んでいるのか変わってきていることはあるのか。

→事務局 教育長も説明会に出席して、移転の目的、趣旨やどんな改修をするのかという内容を説明させてもらっているが、移転そのものに課題があるということ、話が終始しているというところである。教育委員会としては改修にあたって様々なご意見を伺いたいと思っているがそこまでは及んでいないのが現状である。

大事な子どもたちを預かっている立場なのでより安心安全な施設の整備に努めたい。より安心安全な施設、環境で事業を運営したいというのが一番の願いであることを理解いただきたい。

昭和48年に第二大山崎小学校が開校したときは、児童が800人、900人規模でやむなく校舎を隔ててプールと放課後児童クラブを建てた当時と比べ、今は児童数が3分の1に減っている。全国的な人口減の中でこの先児童数が開校時に戻ることはないだろうという状況を踏まえ、また、文科省が空き教室の有効利用の施策を打ち出していることとも合わせ良い機会だと考えている。

本件は、前回の社会教育委員会議、教育委員会で意見を伺い、消防法や建築基準法上の問題もないこと等を判断して、議会にも諮り計画を進めてきた。

今後も丁寧な説明を心がけ町民の皆様のご理解が得られるように努めて参りたい。

○委員一 私も反対意見も含め何人かの人から話を聞いているが、プールと児童クラブがごっちゃになっているように思える。今、児童クラブには何人くらいの児童がいるのか。

→事務局 第二大山崎小学校では約80人くらいである。

○委員一 本来は学校の敷地内にあるべきだと思うが、やはり反対の人が多いか。

→事務局 国の放課後児童健全育成事業は放課後子ども総合プランに基づき、余裕教室の有効活用をはかるという方針で取り組みが進められている。児童クラブに通う子どもも学校に通う子どもも同じ学校の児童ということで、指導員だけでなく学校の職員も同じ敷地内であれば何か起きても連携して見られる大きなメリットがある。そのような趣旨や思いを議会や説明会、広報誌などを通じて伝えていければと思っている。

◇ 今期で退任する3名の委員の紹介と挨拶（2名の方は欠席）

◇ 退任挨拶

- 委員一 こういう場を設けていただき感謝申し上げます。長い間社会教育委員を務めていろいろな研修会や研究会に参加し社会を見る目が広がった。それぞれの方が自分たちの地域を良くしようと努めている姿は健全性を示していて希望が持てるものであり活動や行動の証でもある。このことを自分の作品作りに生かしたいし、町の発展にも寄与したい。社会教育の発展を願っている。

◇ 委員長退任挨拶

- 一年間の約束で委員長を務めたが何とか全うでき皆様に感謝申し上げたい。
- 近畿社会教育研究大会に向け乙訓代表として引き続きがんばりたい。

◇ 副委員長閉会挨拶

- 委員長には一年間ご苦勞様でした。
- 私は若い頃から野鳥の会に入り活動を続けている。探鳥会では2009年に4人で出発し、会員がたくさん増えたことはうれしいのだが、島本町の方が多く、大山崎町の方が少ないので残念に思っている。前回の例会で地質に詳しい方が参加され、慶長の地震で天王山に断層ができたところを教えてもらった。天王山でタケノコが採れるのは粘土質で水がよく出るからということも知った。
- 聖天さんから天王山の山道をきれいに掃いている方と出会い、町内にはいろいろと頑張っておられる方がいるのだと思った。次年度も皆様の一員として頑張ってお参りたい。